

台風0613号で観測された降水・水蒸気の安定同位体

Isotope Ratios of Rain and Water Vapor observed in Typhoon Shanshan (2006)

筆保 弘徳 [1]; 一柳 錦平 [2]; 杉本 敦子 [3]; 上田 哲大 [4]

Hironori Fudeyasu[1]; Kimpei Ichiyanagi[2]; Atsuko Sugimoto[3]; Akihiro Ueta[4]

[1] JAMSTEC; [2] 観測センター; [3] 北大・地球環境; [4] 北大・理・地球

[1] JAMSTEC; [2] IORGC; [3] EES Hokkaido Univ; [4] Earth Sciences, Hokkaido Univ.

<http://www.jamstec.go.jp/>

2006年9月15-16日の台風13号が南西諸島を通過した時に、石垣島で気象・同位体観測を行った。世界的にも例のない台風のレインバンドや壁雲や目の中の降水や水蒸気の高時間分解能観測は、これまで明らかにされていない台風内部の局地的な水循環を示している。台風の外側レインバンドから内側レインバンドまでの降水の同位対比は、内側ほど低くなっている。一方、台風の中心付近の壁雲ではやや高い同位対比の降水が観測された。これは、台風の外部から内部までは水のリサイクル循環が起きており、中心付近では近海で蒸発した水の局地的循環が起きていることを示唆している。